

# 御部ダムだよ

第1号（平成21年度）  
平成21年6月  
浜田県土整備事務所

## 洪水期到来

日頃から御部ダムの管理に関しましてご協力をいただきましてありがとうございます。

御部ダムでは、日頃より設備の保守点検を実施し、いざというときに備えております。

また、5月27日には「ダム管理演習」を実施しました。各関係機関との情報伝達訓練や警報活動の演習等を行い、梅雨入りに準備しました。



## こんな時に警報活動を実施します

※警報活動とは、ダムから各警報局へのマイク放送、サイレン吹鳴及び警報車からのマイク放送のことをいいます。

- (1) 急激な水位上昇が予測される時  
(ダム下流で30分で30cm以上の急激な水位上昇)
- (2) 非常用洪水吐を越流すると予想される時

※御部ダムの警報区間は、ダム～矢原川合流点(出合橋)までです。

### お願い

ダムからの放送やサイレンが聞こえた時は川に近づかないでください。

また、雨が降りそうなときは、気象情報に十分注意してください。

(2)はここを越流する時に警報活動を実施します。

常用洪水吐  
(最大600トン放流)



島根県浜田県土整備事務所

〒697-0041 島根県浜田市片庭町254

TEL.0855-29-5678

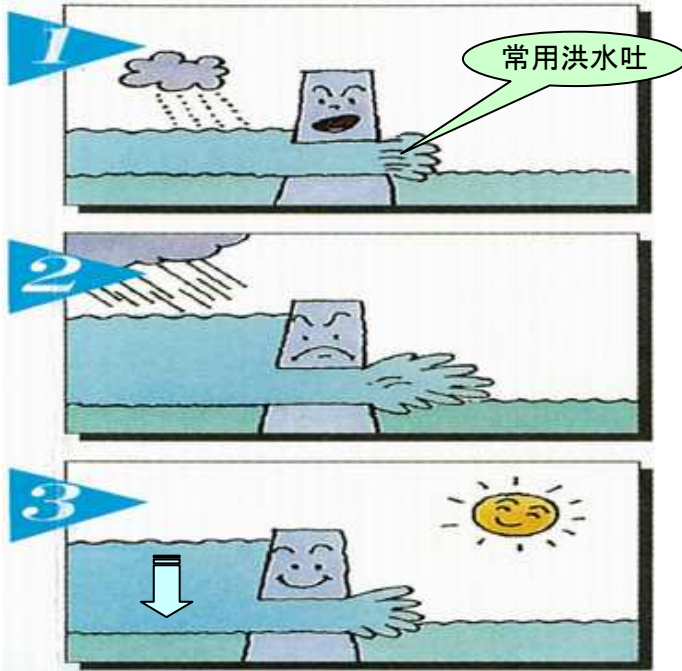


シマネスク・島根

## ゲートレスダム of 洪水調節とは？

ゲートレスダムとは洪水調節を行うためのゲートの無い自然調節型ダムのことです。従って人為的な操作により放流量を調節することはできません。

それでは、どのようにして洪水調節を調節するのでしょうか？



大雨が降ってきて、たくさんの水がダムに押し寄せてきました。常用洪水吐から少しずつ放流が始まります。御部ダムの常用洪水吐は最大600トン of 水を流すことができます。

さらにダムに流れ込む水の量が増え常用洪水吐の能力を超えると、ダムの上流にたくさんの水を貯め込みます。御部ダムでは最大で約1,550万トンもの水を貯めることができます。(このときも常用洪水吐からは最大600トンの放流が続きます。)

雨が小降りとなり、ダムに流れ込む水の量が常用洪水吐から放流する水の量より少なくなると、ダムの水位がを少しずつ下がりはじめます。さらに水位が常用洪水吐付近まで下がり、次の大雨に備えます。

※ 100年に1度あるかないかの大雨では、ダムの貯水能力を超えてしまいますので、上流で降った雨がそのまま下流に流れ、洪水を起こす可能性があります。

## 「ダム」はこんなはたらきをします

### 〈 大雨のとき 〉



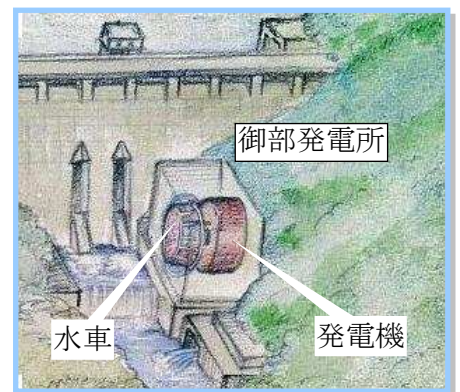
大雨が降ったときに、ダムに集まった水をダムに貯めながら、少しずつ川に流すことで、川の氾濫を防ぎます。

### 〈 水不足のとき 〉



雨が降らない日が続いても、川の水が少なくならないようにダムに貯めた水を川に少しずつ流します。

### 〈 発電 〉



ダムに貯まった水を利用して、水力発電を行っています。